

日時：令和7年2月14日（金） 13：00～16：30

場所：大野町総合市民センター

A faint, light gray map of the Chubu region of Japan is visible in the background. It shows the outlines of the prefectures of Aichi, Gifu, Shizuoka, Nagano, and Yamanashi. The text is overlaid on this map.

インフラメンテナンス国民会議

中部フォーラムの取組紹介

中部フォーラム事務局

中部フォーラム

中部フォーラムは、H30.1.26に発足し、民間企業（12社）で中部地方のインフラメンテナンスの自治体支援のために、ボランティアで活動しています。

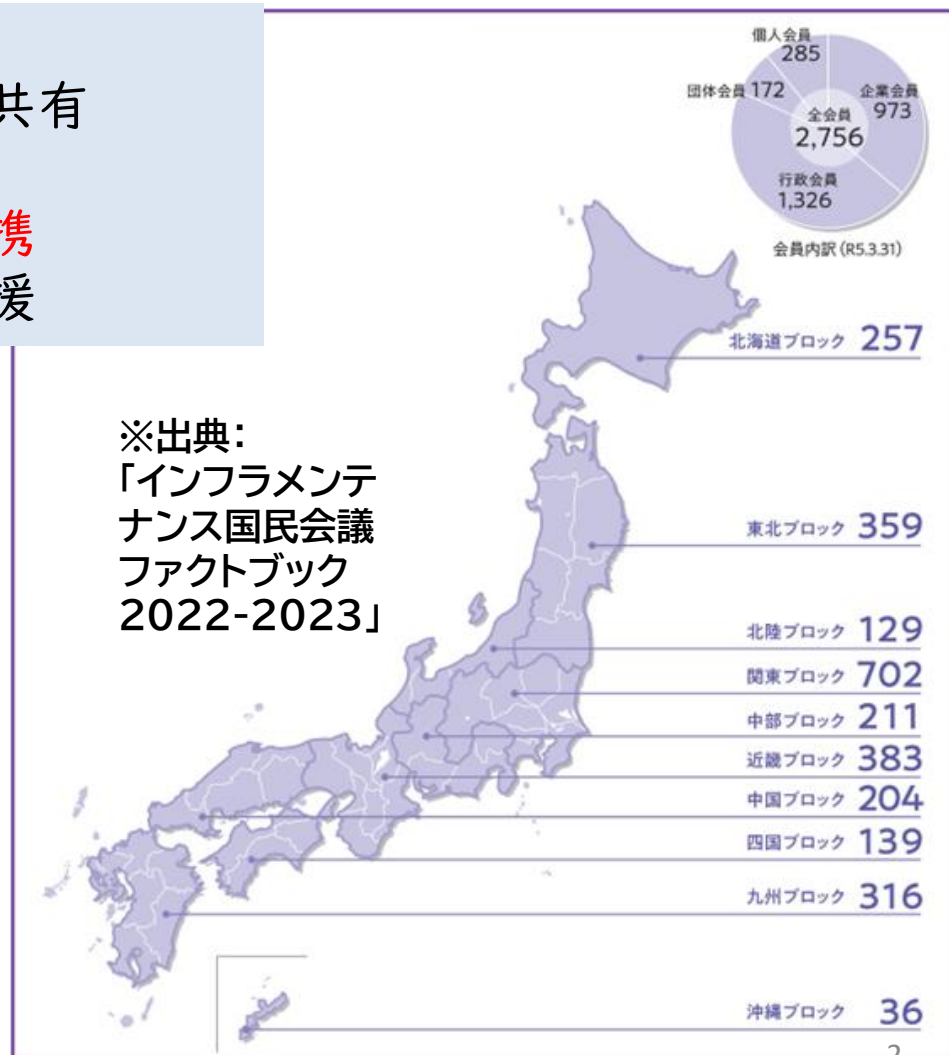
中部フォーラムの活動内容

- ① インフラメンテの課題の把握と共有
- ② 自治体支援
- ③ 市民協働の促進、産官学民の連携
- ④ ニーズ×シーズのマッチング支援

1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
2	大日コンサルタント(株)	
3	日本工営都市空間(株)	リーダー
4	中央コンサルタンツ(株)	サブリーダー
5	(株)テイコク	
6	東亜道路工業(株)	
7	戸田建設(株)	渉外担当
8	ニチレキ(株)	
9	日本工営(株)	
10	ホームックス(株)	
11	八千代エンジニアリング(株)	渉外担当

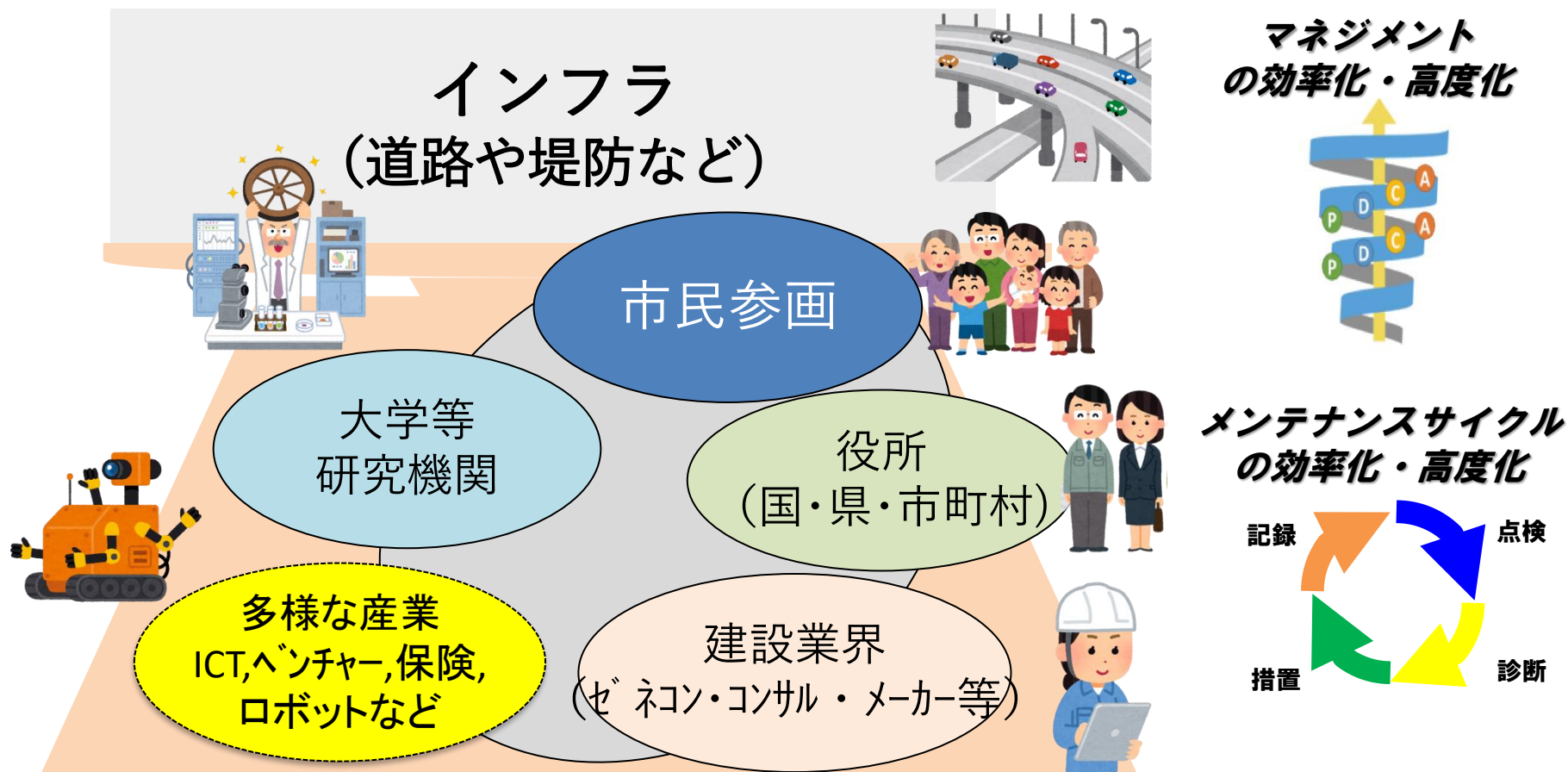
■オブザーバー(本部実行委員):日本工営(株)

■メンター:中村光教授(名古屋大学)、沢田和秀教授(岐阜大学)



中部フォーラムの目指すところ

- ▶A.インフラメンテナンスの仕組み・体制作り（自治体支援）
- ▶B.魅力あるインフラメンテナンス産業への転換
- ▶C.次世代の担い手確保



インフラメンテナンスに関するこれまで(第1フェーズ)の取組

項目	国土交通省の取組状況と今後の課題※	中部フォーラムの取組
メンテナンスサイクルの確立	点検が一巡し全体像把握と修繕計画策定 ⇒ <u>新技術の効果を踏まえた修繕計画</u> 等	●新技術を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画の策定支援(2022年)Ⓐ
施設の集約・再編等	マニュアルの整備、集約・再編の財政支援 ⇒ <u>効率的・効果的な集約・再編</u> 等	●不適格橋梁について考える勉強会(2023年)Ⓐ
多様な契約方式の導入	包括的民間委託の導入支援 等 ⇒ <u>広域連携による包括的民間委託</u> 等	●三条市などの道路包括的民間委託の先行事例の紹介(2018年)Ⓐ ● <u>インフラの包括的な維持管理に関する自治体支援セミナー(2025年)Ⓐ</u>
技術の継承・育成	資格制度の構築、研修 等 ⇒ <u>登録資格のさらなる活用</u> 等	●自治体DIY研修(2022年、2023年)Ⓑ ●東海コンクリート診断士会との合同研修会(2021年)Ⓑ
新技術の活用	インフラメンテナンス国民会議、新技術活用手引き等 ⇒ <u>マッチング強化、研究開発等</u>	●岐大SIPでの取組・課題の紹介(2018年)Ⓑ ●名高速でのマッチングイベント(2019年)Ⓑ ●鈴鹿市橋梁点検における新技術実証実験(2023年)Ⓑ
データの活用	各分野でのデータベースや国土交通DPF ⇒ <u>データオープン化、情報マネジメント等</u>	●土木学会との技術講習会(2020年)Ⓑ
国民の理解と協力	インフラメンテナンス大賞 等 ⇒ <u>メンテ分野の魅力拡大</u> 等	●大学出前講座(2021年～2024年)Ⓒ ●啓蒙活動(市民活動紹介、体験講座)(2019年、2020年、2024年)Ⓒ

※国土交通省「今後のメンテナンスのあり方に関する提言」2022年資料より抜粋

自治体支援第2フェーズに向けた軌跡

活動軌跡（仕組づくり、魅力づくり）

STEP1

オンラインで複数の自治体と維持管理に関する意見交換会(整備局より募集)

STEP2

個別自治体とシーズ×ニーズのマッチングの調整（次のフェーズへ）

STEP3

意見交換会、勉強会、見学会、現場実習(補修DIY)などの継続支援

STEP4（第2フェーズ）

群マネ試行に向けたアクション

自治体ファンの獲得

中部地域への浸透・理解の促進

群マネ自治体セミナー（25.1.31）
（建コンとコラボ）

インフラメンテナンスに関するこれから(第2フェーズ)の取組

■市区町村における財政面・体制面の課題等を踏まえ、個別施設のメンテナンスだけでなく、発展させた考え方のもと、インフラ施設の必要な機能・性能を維持し、国民・市民からの信頼を確保し続けた上で、よりよい地域社会を創造していく必要がある。

■各地域の将来像に基づき、複数・広域・多分野のインフラを「群」として捉え、総合的かつ多角的な視点から、戦略的に地域のインフラをマネジメントすることが必要である。

『**地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**』を推進

推進するためには、

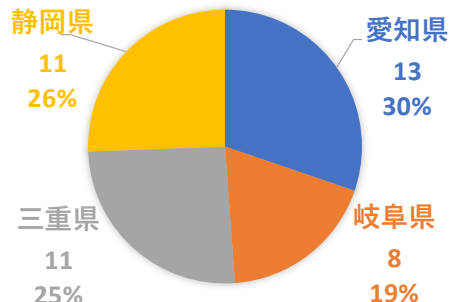
- 👉 地域の将来像を見据えた群マネへの展開
- 👉 群マネにおける市区町村の体制構築
- 👉 新技術の開発、活用、そのための体制構築
- 👉 インフラメンテナンスDX
- 👉 国民参加・パートナーシップへの転換

第2フェーズでは、

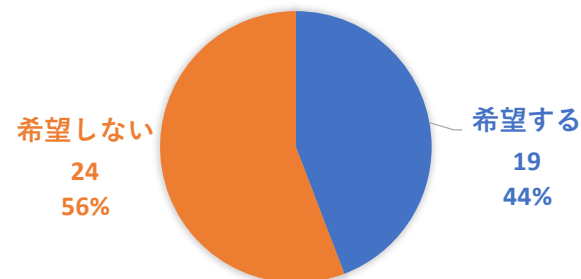
中部フォーラムとして“推進”に向けた支援の形を具体的に考えてゆく。

包括的民間委託に関する自治体アンケート結果R6.2

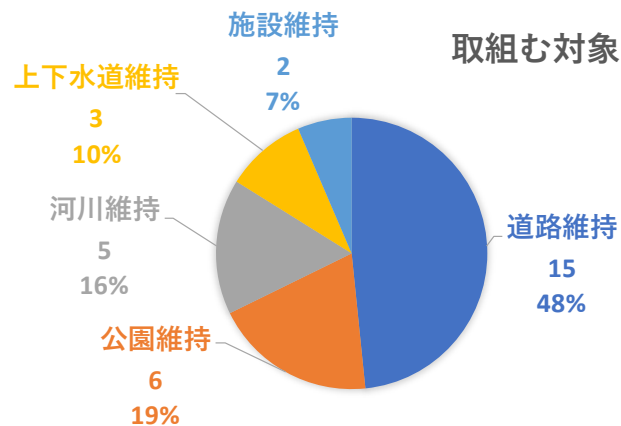
回答自治体の内訳



包括的民間委託の取組希望



取組む対象施設



■取組に関する問題・懸念事項

- ①職員不足(余裕がない)
- ②費用対効果(メリット)が不明瞭
- ③進め方が不明瞭、
- ④責任の所在が不明瞭
- ⑤職員の知識・リテラシー不足
- ⑥地元企業の受注機会が減少する

課題への対応が中部フォーラムのミッション

フェーズ2の最初の1歩として

**2025.1.31に自治体支援セミナーを開催。
参加者500名以上（対面+WEB）の大盛況。官民ともに、包括委託（群マネ）への高い関心が感じられた。**

（開催案内） インフラの包括的な維持管理に関する自治体支援セミナー
～地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の普及に向けて～

共催：インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム
インフラメンテナンス国民会議市区町村長会議中部ブロック
建設コンサルタンツ協会本部 アセットマネジメント専門委員会
建設コンサルタンツ協会中部支部
後援：国土交通省中部地方整備局

インフラメンテナンス国民会議中部フォーラムでは、これまで、インフラの効率的な維持管理や課題解決に向けた自治体支援として、官民連携などを題材に事例紹介やパネルディスカッションを開催してきました。特に、2024 年 2 月では実務者による「包括的民間委託の実践に向けて」と題した自治体向けセミナーを開催し、多くの方々に参加頂きました。

各地でのこのような活動を背景に包括的民間委託への理解が深まる中、近年では、インフラを群として包括的に取り扱い、維持管理する新しい取組が注目されています。

そこで、この度、2024 年 2 月のセミナーに続き、中部フォーラムでは、建設コンサルタンツ協会と共同で、インフラ維持管理の新しいフェーズに向けた“群マネ”普及セミナーを開催する運びとなりました。

つきましては、多くの皆様にご参加賜りますよう、以下、ご案内申し上げます。

2025.1.31 自治体支援セミナーの紹介

■プログラム

- 13:00 開会挨拶 (中部フォーラム 原田和樹)
(中部地方整備局 企画部)
- 13:10 インフラメンテナンス国民会議中部フォーラムの取組 (中部フォーラム 鈴木正樹)
- 13:25 建設コンサルタンツ協会アセットマネジメント専門委員会からの研究報告
(建設コンサルタンツ協会 土井達朗)
- 13:50 社会資本の老朽化の現状と維持管理の必要性 (建設コンサルタンツ協会 水野高志)
- 14:50 中部地域での包括的民間委託の先行事例 (明和町の取組) (明和町 西尾直伸)
- 15:25 パネルディスカッション
ファシリテーター：沢田和秀 (岐阜大学)
パネリスト：水野高志 (建設コンサルタンツ協会, 群マネ実施手法検討会 委員)
西尾直伸 (明和町)
中村政則 (恵那市)
河野雅臣 (市区町村町会議中部ブロック幹事：大野町)
- 16:25 総括 (閉会挨拶) (市区町村町会議中部ブロック幹事：河野雅臣)

みんなでぬりかえ、未来へつなぐ安心の橋～プロジェクト1184～ 開催報告

日 時：令和6年11月19日(火) 9:30～12:00 場 所：岐阜県加茂郡七宗町内

参加者：上麻生小学校の5,6年生19名、七宗町役場、丸ス産業(株)（技術指導）、中部フォーラム

■ 開催の経緯

- インフラを維持管理していくための予算や人の確保が厳しい環境にある中、地域住民を交えたメンテナンスの仕組みづくりをしていきたいという町の想いを形にしたい

■ 開催目標

- 子供たちに、橋梁の塗装塗替え作業を通じて土木について学んでほしい
- これを機に、生徒の親や地元の方々がインフラに興味を持ってほしい
- さらに、自分たちの手で補修することで、地元のインフラに愛着を持ってほしい



■ 座学（9:30～10:30）

- 手始めクイズ（七宗町の橋の現状）
- 土木ってなに？
- 七宗町のいま（クイズの答え合わせ）
- 橋のなおし方（定期的な維持管理の重要性）



- ・ 生徒のほか、担任の先生や校長先生、教育長も抜き打ちでクイズにチャレンジ！
- ・ 全問不正解の大人も・・・
- ・ あたりまえの生活をするには、インフラの維持管理がとても重要



手始めクイズ

Q4. **七宗町**でいちばん古い橋は何歳？

- ① 12歳
- ② 72歳
- ③ 107歳
- ④ 264歳



みんなでぬりかえ、未来へつなぐ安心の橋～プロジェクト1184～ 開催報告

日 時：令和6年11月19日(火) 9:30～12:00 場 所：岐阜県加茂郡七宗町内
参加者：上麻生小学校の5,6年生19名、七宗町役場、丸ス産業(株)（技術指導）、中部フォーラム

■ 塗装塗替 (10:30～12:00)

- 👉 塗装色は子供たちで選定（七宗町のシンボルカラー（青緑色））
- 👉 施工業者さんが上手なペンキの塗り方を伝授 👉 高欄1スパン/人の役割分担
- 👉 上級生だけあって、大人顔負けの塗装技術
- ・ 4人1班のチーム戦だったが、保護具を着用すると誰が誰だか・・・
- ・ 町長をはじめ、近隣の住民や新聞社が訪れた
- ・ 優勝チームには、後日表彰状が授与された



おわりに

中部フォーラムが発足して7年が経ちました。

予算を持たない（法人格がない）我々の活動には、限界があります。
現状では、メンバー所属企業の理解と、メンバー個人のインフラ維持管理への想いが、活動力の原点となっています。

我々の活動の最終目標は、インフラ維持管理を魅力ある産業に醸成することにあります。この目標は、産官学民の共通目標であると信じています。

我々が活動を継続するためには、自治体の皆様、中部地方整備局の皆様の更なるご支援が必要です。

我々を知っていただき、我々と共に成功体験を共有頂くことが、我々の着地点と感じています。

ご清聴ありがとうございました。

中部フォーラムのこれまでの取組

参考

会議名	実施日	場所	テーマ
第1回	2018/2/21	名古屋	中部におけるインフラメンテナンスの展開と展望
第2回	2018/7/23	名古屋	インフラ維持管理の課題と包括的民間委託
第3回	2018/10/25	静岡	インフラ維持管理の効率的な知恵と工夫
第4回	2019/2/19	名古屋	持続可能な維持管理の自治体ニーズの深堀
第5回	2019/10/17	名古屋	現場ニーズと技術シーズのマッチングイベント
第6回	2019/10/30	静岡	インフラメンテナンス時代をサバイブする「公響事業」
第7回	2020/2/12	名古屋	未来にもあたりまえのインフラを！
第8回	2020/11/15	静岡	インフラメンテナンス技術講習会(with土木学会)
第9回	2021/6/8	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第10回	2021/11/2	名古屋	小規模コンクリート橋の維持管理に関する自治体支援 (東海コンクリート診断士会との共催)

中部フォーラムのこれまでの取組

参考

会議名	実施日	場所	テーマ
第11回	2022/6/7	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第12回	2022/11/16	七宗町	インフラ点検補修DIY現場実習
第13回	2022/12/9	愛工大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第14回	2022/7月～12月	鈴鹿市	新技術を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画の改定支援
第15回	2023/2/14	田原市	インフラ点検補修DIY現場実習
第16回	2023/5/30	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第17回	2023/10/19	鈴鹿市	橋梁点検支援技術の現場実証試験
第18回	2023/10/23	七宗町	既存不適格橋梁について考える
第19回	2023/10/31	愛工大	大学講座／施設維持管理論 「インフラ施設の維持管理と実務」
第20回	2023/12/1	大野町	インフラメンテナンス市区町村長会議中部ブロック会議 (コラボイベント)

中部フォーラムのこれまでの取組

参考

会議名	実施日	場所	テーマ
第21回	2024/2/6	名古屋	中部フォーラムR5年度活動報告会(新技術、自治体支援、包括的民間委託)
第22回	2024/5/30	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第23回	2024/11/19	七宗町	みんなでぬりかえ、未来へつなぐ安心の橋
第24回	2024/12/2	愛工大	大学講座／施設維持管理論「インフラ施設の維持管理と実務」
第25回	2025/1/31	名古屋	インフラの包括的な維持管理に関する自治体支援セミナー